

第 13 章

台湾の経済地理統計データ

早川 和伸

キーワード：

台湾 経済 地理 データ

1. 地理的区分

台湾の行政区画は、第 1 レベルで 22 (5 直轄市+3 省轄市+14 県) に分割される (表 1)。これらは、第 2 レベルで、370 区・市・鎮・郷に分割される。2000 年以降の行政区分の変更は、2010 年に行われており、上記のような区分になったのは 2010 年 12 月 25 日のことである。その前後における直轄市の構成変化を表したのが図である。図から明らかなように、新直轄市と同名の市が以前から存在しているが、対応する懸とそれぞれ対等合併を行っているため、地域別の統計データを時系列で眺める際には、行政区分の変更に注意をする必要がある。

2. 産業分類

台湾の産業分類は、Standard Industrial Classification of the Republic of China (4-digit) となっている。ISIC 各バージョンとは、4 桁レベルでは完全に一致することはないが、少なくとも 2 桁では合わせられるように見える。

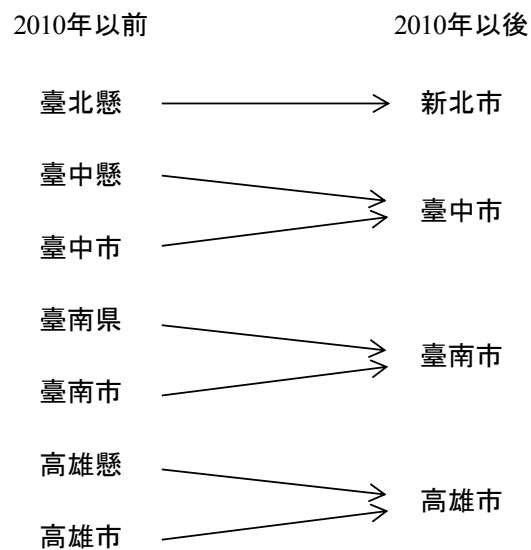
3. 人口センサス

内政部 (Ministry of the Interior) により、人口センサスが行われており、その結果は「人口統計年刊」として公表されている。人口センサスは 5 年ごとに行われており、最新の調査は 2006 年対象センサスである。性別、年齢別、District 別 (市郷鎮)、学歴別などに人口数が報告されており、人口数以外にも、出生率、死亡率などが報告されている。

表 1 台湾の第一級行政区域と人口

市・縣	人口(人)	下部行政区数
新北市	3,897,367	29区
臺北市	2,618,772	12区
臺中市	2,648,419	29区
臺南市	1,873,794	37区
高雄市	2,773,483	38区
宜蘭縣	460,486	1市3鎮8鄉
桃園縣	2,002,060	5市1鎮7鄉
新竹縣	513,015	1市3鎮9鄉
苗栗縣	560,968	1市6鎮11鄉
彰化縣	1,307,286	1市7鎮18鄉
南投縣	526,491	1市4鎮8鄉
雲林縣	717,653	1市5鎮14鄉
嘉義縣	543,248	2市2鎮14鄉
屏東縣	873,509	1市3鎮29鄉
臺東縣	230,673	1市2鎮15鄉
花蓮縣	338,805	1市2鎮10鄉
澎湖縣	96,918	1市5鄉
基隆市	384,134	7区
新竹市	415,344	3区
嘉義市	272,390	2区
金門縣	97,364	3鎮3鄉
連江縣	9,944	4鄉
合計	23,162,123	370

図 1 新直轄市の構成



4. 地域別・産業別 GDP 入手可能性

地域別付加価値額は、「工商及服務業普查報告」に最も網羅的に報告されている。本報告では、県別（第一地域区分別）に、鉱業、製造業、サービス業の付加価値額が4桁レベルの産業分類にて報告されている。付加価値額は、総生産額—中間消費額として計算されているが、それぞれの定義は産業に応じて細かく異なる。政府行政院主計処担当者へのヒアリングによると、2010年版は2014年に出版予定とのことである。

本報告には、農業部門の付加価値額が報告されていない。農業部門については、別途5年一度センサス調査が行われており、「農林漁牧業普查報告」として公表されている。しかしながら、本報告には、耕作地面積などは第二レベルの地域区分で入手できるが、付加価値額は県別に報告されていないため、直接的に農業部門の県別付加価値額は入手できない。

5. 経済地理データ作成の手順と課題

本研究会のデータセットでは、台湾は県レベルでのデータを作成する。上述したように、県別の人口は「人口統計年刊」をもとに入手できる。一方、県別 GDP は、農業部門分を除けば、「工商及服務業普查報告」より入手できる。とくに、製造業部門内は十分細かい業種レベルで入手できる。したがって、問題は、農業部門の県別 GDP をどのように構築するかという点に絞られる。県別の GDP 全体もまた利用可能でないため、全体から鉱業、製造業、サービス業の GDP を差し引き、農業部門の GDP を入手するという方法も取れない。そこで、一つの実行可能な方法として挙げられるのは、「農林漁牧業普查報告」にて報告されている台湾全体の農業 GDP を、同報告書に報告されている県別耕作地面積で按分することであろう。

6. 関連統計ソース

工商及服務業普查報告

農林漁牧業普查報告

人口統計年鑑